

保育おおさか

No. 494

平成 28 年 10 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/>

見えない貧困を 意識すること

≡≡≡ スマイルサポーターフォローアップ研修 ≡≡≡

9月8日、薬業年金会館でスマイルサポーターフォローアップ研修(全体研修会)を開催し、124人が参加しました。

第Ⅰ部では、大阪府立大学教育福祉学類教授山野則子氏が「子どもの貧困の現状と課題、その対策」をテーマに講演。

平成27年2月20日に、神奈川県多摩川河川敷で中学1年生の少年が殺害され、遺体遺棄された川崎事件によって浮き彫りとなった子どもの貧困による生活状況の問題にふれました。山野氏は保育関係者の間では貧困家庭に陥っていると看做しても、それを貧困とみなさず認識できていない場合が多いことから、子どもの貧困について受講者にあらためて以下のような意識づけを行いました。



真田政穂氏

「保育園・認定こども園は、母子家庭の入園が優先されるため、貧困と思われる家庭を見つけやすい機関です。そのため、スマイルサポーターの役割でもある他機関につなげることでより重要になるため、皆さんには育児相談などから家庭環境や家庭状況を汲み取る力をさらに伸ばしていただきたいです」と話されました。

また、子どもの学力調査では、家庭における読書活動、生活習慣に関する働きかけ、親子間のコミュニケーション、親子間でやる文化活動は、いずれも学力に影響があること。母子家庭や生活保護世帯は家を空ける時間が多いため、子どもとの関わりが少なくなることから、その後、非行に走るケースが多い。そういった問題も貧困による原因が背景にはあるといえます。

専門家が介入すれば解決できるというわけではない現状の問題には、さらなる制度の仕組みが必要であることを強調されました。

第Ⅱ部では、大阪府社協から事務局次長兼生活支援部長真田政穂氏が、平成27年度に施行した生活困窮者自立支援制度の現状と課題について説明されました。

本制度の学習支援事業の取り組みについて、貧困に

よって奪われた学習機会を補うための工夫について報告があり、勉強をしたくてもできない状況にある子どもたちへ、学生ボランティアなどの協力により実施するものの、学習支援ボランティアの人数がまだまだ不足しており、参加人数が限定されてしまう現状について話されました。

第Ⅲ部では、山野氏と真田氏の意見交換が行われ、子どもの貧困の現状と課題についてさらに理解を深めました。

研修会を終えて受講者からは、「貧困家庭は、意識しなければ見えてこないことや、国などの取り組みやそれに伴う課題などを知ることができた。自分の市の取り組みについて調べてみようと思う」などの前向きな意見が寄せられました。(事務局)



研修会のような様子



「僕の夢は一流のプロ野球の選手になることです。3歳の時から練習をはじめ、3年生の時から今までは3

65日中、360日は練習をやっています。そんなに練習をやっているのだから必ずプロ野球の選手になれると思います」

米大リーグで8月にメジャー通算3000本安打を達成したイチロー選手が小学校6年生の時に書いた「僕の夢」という作文。まだ12歳の鈴木一朗少年が世界のイチローとなっていく原点です。明確な目標をもち、積み重ねた練習に対する自信が満ちあふれています。

日米通算3000本安打を達成したとき、イチローは子どもたちにこんな言葉を贈っていました。「3000の成功(安打)は6000以上の失敗(凡打)があつて達成できた。成功も大切だが失敗も大事。失敗には必ず原因がある。そこを考えられる人間になってください」

失敗の中から学び、考えて努力することの大切さを未来ある子どもたちに伝えていけるようにイチロー世代の私も頑張ります。

(編集委員K・K)

大阪府への予算要望

8月24日、大阪府社協、施設正副部会長会議、市町村社協連合会、民児協連合会の4者連名で「平成29年度大阪府当初予算に対する要望書（全17項目）」を提出。保育部会に関するものは次の2項目です。

認定こども園の認可・認定権限等の権限移譲において、市町村における円滑な運用に向けて、行政機関での十分な連携等を図られたい。

府からのコメント、方針等

● 子ども・子育て支援新制度は、市町村が主体となっており、地域のニーズに基づき幼児期の教育・保育、子育て支援の提供について計画を策定し、給付・事業を行い、府は実施主体である市町村を支える重要な役割を担っていると認識しています。

● 平成28年度からは6市について認定こども園の認可・認定等の権限を移譲しており、今後、移譲が進むことによって、地

な認可・認定等が実施されるよう、十分な連携・協力を図ってまいります。

保育士の処遇改善が図られるよう、地域格差にも十分配慮された具体的施策を講じられたい。

府からのコメント、方針等

● 保育士の処遇改善の取り組みとしては、平成27年度から、国の制度により職員の平均勤続年数や賃金改善・キャリアアップの取り組みに応じた人件費の加算を図る「施設型給付費等に係る処遇改善等加算」が導入されておりあります。さらに、平成29年度から、保育士として技能・経験を積んだ職員について、全産業の女性労働者との賃金差がなくなるよう、更なる処遇改善等が検討されておりあります。

● また、平成28年度から国の補助制度を活用し、保育士の業務負担軽減のための保育補助者の雇上費についての貸付により勤務環境の改善を図るとともに、資格取得のため

埼玉県保育協議会

スマイルサポーター 地域貢献支援員養成研修を視察

8月4日、埼玉県保育協議会（埼玉県保育協）から喜多濃定人副会長はじめ4人が視察訪問。社会福祉法人制度改革を見据え、保育園・認定こども園が取り組む地域公益活動の取り組み事例について学ぶため保育部会を訪れました。

冒頭、府社協社会貢献推進室長の梅木氏から「大阪しあわせネットワーク」について説明。続いて、千里山やまて学園理事長熊井茂治氏、松の木保育園園長松井秀樹氏より大阪府知事認定課程のスマイルサポーター事業について説明しました。

埼玉県保育協からは、育児相談員から発展してきたこれまでの経緯に高い関心が寄せられました。講座担当の講師陣もカリキュラム作成に関わり毎月の会議で進捗管理をする等、部会主体の取り組みであることを説明。認定後もフォローアップ研修や園長向け研修と、現場で活かせる研修体系を構築していることを強調しました。その後、実際の養成研修の講座風景を見学しました。

埼玉県保育協は「大阪をモデルに、埼玉県版のスマイルサポーター事業の立ち上げを検討したい」と強い意気込みを語られました。（事務局）

ブロック別研修会はじまる

4月に施行された「社会福祉法等の一部を改正する法律」により、組織の大幅な見直し等が求められます。保育部会では法改正に各園がきちんと対応するため、大阪府立大学地域福祉学類長の関川芳孝氏による研修会をブロック別に開催していきます。

第1回は8月22日。河内ブロック研修会をシェラトン都ホテルで開催しました。続いて9月3日に、LICCはびきのにて南大阪ブロック研修会を開催しました。



食育に多方面から 取り組むことで ひろがる学び

高槻市

幼保連携型認定こども園
和光認定こども園

和光認定こども園は、医療法人東和会グループ、社会福祉法人恭生会として、2012年4月に開園。今年度から定員120人の「幼保連携型認定こども園」として、新たにスタートしました。教育・保育方針は「フィンランド・メソッド」を理念に「愛には行動が伴う」がコンセプトです。



手作り梅ジュースおいしくなあれ!!

食育では、園庭で6月に年中組が梅の実を収穫し、「梅ジュース作り」に挑戦。保存瓶に梅と氷砂糖を交互に入れ、梅の形や匂いを観察。氷砂糖を口にするのと、砂糖が大きくなったものだよ。甘くてかいたよ」と、食べ物不思議について学んだ子どもたちが教えてくれます。

生け花・茶道では、文化の継承と静寂経験や花を愛でる気持ちを育みます。園内一泊キャンプでは、子どもたちの希望により「ナン」作りのゲストを迎え、ネパールの食文化についても教わりました。

社会見学では「壺」を見て、日本と世界の文化の違いを知る機会となりました。地域交流では、同法人の高齢者施設の方々と「折り紙」「手遊び」や「手話」も



ナンってこうやってできるんだ

教わっています。「大切な命を尊び、個性を認め、能力と可能性を伸ばす。ほめて・認める加算法、笑顔であいさつを交わし、相手の目を見て自己表現しながら話し、傾聴できる習慣を深めたい」と呉園長は熱心に話されていました。

(編集委員M・K)



保育園・
認定こども園
をたずねて

547

聖

心保育園はJR学研都市線住道駅から徒歩20分ほどの住宅街の中にあります。昭和50年に開園。現在定員150人の保育園です。

聖心の「聖」の字は聖徳太子ゆかりの地の近くにあることから、名前の一字を、

「心は日本人の心という意味からつけられました。聖徳太子の「和をもつて尊しとなす」という教えを伝え、日本人の優しさ、厳しさ、たくましい心を育てていきたいという思いが園名に込められています。

地域との連携を深め、地



お祭りの日は獅子舞が園に来ます

域の方から支持され、地域になくはない保育園を目指しておられます。

毎年10月の地域のお祭りの日は、園児も一日参加します。ご神事をしに朝から近くの神社に向向き、その後園に獅子舞が来て、各保育室をまわります。最近

は獅子舞の中の人々が卒園児といふこともあるそうです。

屋からは3、4、5歳が法被を着て地域の人たちにまじってだんじりをひきます。

大人も園児も小学生もどっぷりお祭りに浸る一日です。

『あったか大家族』―「園児を囲むすべての人がひとつの家族」が園のモットーと永田英子園長が話され、運動会では親子競技を全クラス行い、家族や地域の方々などみんなが身体を動かして楽しめるプログラムに

なっています。例えば、5

地域との連携を深め、地

いつもニコニコ
あったか大家族

園児を囲むすべての人がひとつの家族

保育所
せいしん
聖心保育園

大東市



みんなでダンス楽しいな

歳児恒例親子リレーや昼の休憩時間に全員で行う流行りのダンス。なごやかな光景が目につかびます。小学校と隣接し園舎の屋上から校庭が見渡せ、普段から小学生を見たり、交流をもてることから、小学校への接続もスムーズにすすむのでは、と思われました。

(編集委員A・O)

「自然を愛し、 人を愛し、 物を大切に」

東大阪市

保育所
あおはがくえん
青葉学園

「子どもたちの『今日の給食おいしかったよ。ありがとう』の言葉がとても励みになるんです」と調理員さんも話されていました。



遊具がいっぱいのにぎやかな園庭

食おいしかったよ。ありがとうの言葉がとても励みになるんです」と調理員さんも話されていました。



テーマ「色と形」でスーパーマーケットごっこ

定員60人の小さな保育園ですが、少人数ならではの縦割り保育を大切に、日々の色々な場面でも異年齢と交流ができるよう工夫した保育をしています。幼児が乳児に優しく関わっている姿はとても微笑ましく、子どもたちも相手のことを考えて行動できるようになってきました。

去年は園庭にいる昆虫を捕まえてみんなで飼育しました。中でもカタツムリを冬眠させて孵化させた時の喜びはとても大きいものでした。どんな小さな生き物にも命があり、どの命とても大切だということを伝える良い経験になりました。

食育指導では、年長組が野菜の栽培をしたり、クッキングでおやつ作りを取り組んでいます。自然の恵みの有難さ、地産地消、旬の食べ物を知らせ、年に1回は厨房の調理員と先生が計画。子どもたちが食に関心をもてるよう指導に取り組んでいます。この取り組みをきっかけに、調理員と子どもたちも顔馴染みに。

「子どもたちの『今日の給食おいしかったよ。ありがとう』の言葉がとても励みになるんです」と調理員さんも話されていました。

(編集委員 M・Y)

戦後の物のない時代に保育園と共に育った中易督子理事長は「子どもたちだけではなく保護者の方にも物への感謝、命の大切さを今一度わかってもらいたいのです」と語られたことが印象的でした。

戦後の物のない時代に保育園と共に育った中易督子理事長は「子どもたちだけではなく保護者の方にも物への感謝、命の大切さを今一度わかってもらいたいのです」と語られたことが印象的でした。

ぼみこども園は、平成14年度から社会福祉法人簡修会つぼみ保育園として設立され、今年度から幼保連携型認定こども園として運営されています。

開園当初は定員135人でしたが、現在は定員60人で運営。南海高野線金剛駅から徒歩5分ほどの住宅街にあります。周囲には田んぼなど緑も多く、季節の移り変わりを感じることでできる環境です。取材当日はあいにくの雨でしたが、園庭には手入れされた沢山の木々が見られ、ぎくろ・みかん・柿など季節の果実の成長を楽しめます。

また、保育室は異年齢クラスの子どもたちがふれ合えるよう、間仕切りのない開放的な空間を大切にしながらもコーナー遊びや棚の位置を工夫し、安全への配慮もうかがえました。

小谷順子園長は自ら資格を取得されたオランダ発祥の教育法「ピラミッドメソッド」を導入し、毎月テーマを決めて各年齢に適した活動内容を設定、子どもたちの「自己選択」「自己決定」を大切にしています。

外部講師による歌唱指導、英語教育、体育教育などを取り入れることで子どもたちの個性を存分に引き出す環境づくりにも取り組んでいます。

小谷園長は保育環境は物的環境だけでなく、人的環境も重要であると話してく

(編集委員 Y・K)

青葉学園は、近鉄俊徳道駅、JR俊徳道駅から徒歩1分と交通の便に恵まれた場所にあります。昭和14年創立、戦後の厳しい時代から今日まで日本とともに歩み、今年で77年の喜寿を迎える歴史ある保育園です。



園舎外観

保育園・
認定こども園
をたずねて

548



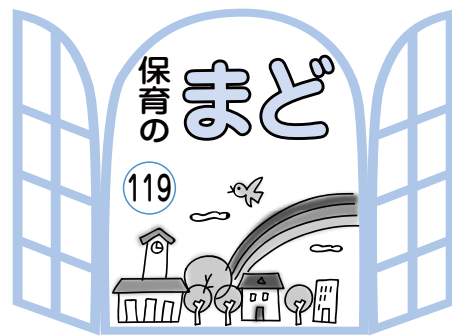
園庭のざくろの木とつきやま

子どもたちの
「自己選択」「自己決定」を
大切にした取り組み

幼保連携型認定こども園

大阪狭山市

つぼみこども園



シリーズ●より良い保育士養成のために

「環境構成を通して行う教育」の 学びへの取り組み

南海福祉専門学校
児童福祉科

津田 由加子

「環境構成」を考える 授業への取り組み

『幼稚園教育要領』には、「環境を通して行う教育」が掲げられている。しかし、この「環境」という2文字の言葉を正確に捉え、理解していくことは大変難しい。

そこで今回は、保育所、幼稚園実習を経験した学生たちに環境を構成するとはどういうことか、実際に現場で子どもたちとかわかっておられる先生方がどんなことを考えながら環境構成をされているのかを意識すること、今後の就職につな

げてもらいたいという願いから授業で班ごとにねらいを立て、そのねらいに沿った環境構成を考える授業を行った。

やはり、学生であるので、ただの壁面になってしまいう可能性もある。

しかし、結論からいえば私の予想はいい意味で裏切られた。

教員である私の方が学生たちに教えられたというか、取り組みの過程と、できあがった時に喜んでいいる姿、達成感にあふれているその場の雰囲気感動さえ覚え

た。
学生たちが一生懸命取り

組む姿はもちろんのこと、子どもたちの姿を想像し、「このようにすると、子どもたちはこう思うのではないか」「では、ここはこうすればよいのでは？」など、常に子どもたちの心もちに寄り添いながら班の仲間と話しあい、試行錯誤を重ねている姿があったからである。その一部を紹介したい。

「図書室に来たくなる 環境づくり」に取り 組んだ班の場合

この班は春夏秋冬で「図



図書室に来たくなる環境づくり

書館に行きたいなと思える環境構成」というのがねらいになっており、春の部屋ののれんをくぐると中は春の景色が広がっているという設定になっている。

他には「天の川」

を天井に再現した班などもある。欲をいえば「図書室に来たくなる環境づくり」の部屋だと、確かに部屋に入るとワクワクし「あの部屋おもしろそうだからまた来たい」と思うであろうが、その場所ですら「絵本を読んでみたい」とまでつながっていかどうかは疑問である。

そこまで考えられ



春の部屋の中



春の部屋

るような保育のあり方を伝えていくことが、教員である私自身の課題になった。

その後の感想で学生たちが「はじめは何も考えずただ壁面を作っていたが、作っているうちに環境構成の中に入ってくる子どもたちの姿や、それを見てどう感じるだろうか」と相手のことを考えて作っていることに気づいた。だから、壁面はただの壁面ではなく、ねらいがあることが大切で、子どもたちに何を伝えたいか、学んでほしいかを設定することが重要であることがわかった」と書いてくれた。

「環境を通して行う教育」の意味を少し理解してくれ



天の川

たことがうれしかった。
このように、現場に出て子どもたちの心もちを忘れず寄り添い続ける保育者であってほしいと切に願っている。

南海福祉専門学校では、こういったグループ活動の授業を多く取り入れている。最近では、就職をしてもその後の人間関係に悩むことが多く、職場での人間関係をどのように築いていくかが大きな課題となっているようである。

そのため、本校でもグループ活動を通して気があうクラスメイトも、そうでないクラスメイトも、グループの中である程度自分の主張をしながらも折り合いをつけていくかというのを学んでももらいたいと考えている。

人と接しなくとも機械を通じてつながれる世の中で、コミュニケーション力を身に付けるのはそう簡単なことではない。

しかし、「人と接することが楽しい」と感じられるよう全教員で力を合わせて学生一人ひとりと向きあい、接していききたい。

南大阪

子どもと楽しむ音楽遊び

NPO法人生涯音楽アカデミー理事長山地寛和氏が「子どもと楽しむ音楽遊びについて」を講演。

まず子どものための音楽遊びとは、歌・動き・楽器が

結びついていることを話され、実際に音楽遊びを体験しながら楽しく学びました。

はじめにアイスブレイク、ピアノに合わせてリズムよくジャンケンペアを見つけて「ぎゅ・ぱん・びょん」を体験。音を聴き動きを感じることが大切です。次に鍵盤ハーモニカを体験しました。鍵盤ハーモニカはメー



音楽研修のようす

カーによりいろいろな違いがあるそうです。そして、演奏を楽しむ上で知っておきたい知識を学びました。

音階・拍子・テンポ・強弱等を身に付けることで、さらに楽しく演奏できることを知りました。

子どもたちは好きに吹いたり、自由に練習する時間を与えられることで、楽しく覚えられます。このように音楽を「伝える」ことが大切だと指摘されていました。最後にさまざまな楽器を使って演奏をしました。

トライアングル・大太鼓・シンバル等を使い拍子に合

泉州

就職フェアに参加して

わけて各々の楽器の鳴らすコツを教えていただきました。参加者全員で演奏し、ちょっとした素敵な演奏会ができました。

音楽の楽しさ、奥深さを改めて知り、今後の保育に生かしたいと思います。

(編集委員M・N)

6月25日に難波で泉州地域の学生を対象とした就職フェアが開催され、泉州地域の保育園、認定こども園が参加、大勢の学生が来場しました。

最初の1分間アピールタイムでは、各園の特色や雰囲気伝わってきて、参加した職員にとっても勉強になるものでした。

私たち東光こども園は、「東光レンジャー」というヒーローに扮し、園が大切にしていることを伝えさせていただきました。ブースを見てもらい、短時間の中で何を聞いたらよいか



東光レンジャー!!

また、自園にとってもこの就職フェアをきっかけに職員が一丸となり、ブースに飾る写真や壁面を作り、「自分たちの園を知ってもらおう」と改めて見直し、考えるいい機会にもなりました。(東光こども園Y・Y)



さんぽ

もうすでにござ存じでしょうが、平成29年4月から社会福祉法人は、新しい組織を作って運営していかなければならなくなりまして。今まさに定款変更作業の最中だと思っています。

社会福祉法人改革に思うこと

私が思うのは、今回の改革の肝は、評議員選任・解任委員会だと考えます。また、一番のメリットは、定款が、準則から定款例(案)になったことです。

定款は、社会福祉法人の憲法です。理事会の意義、評議員会の意義は、今

ければならなかったのが、定款例(案)になったことで、必要的記載事項は、変えることはできませんが、相対的記載事項は、削除できます。任意的記載事項は、法律に違反し

回の改革で変わりますし、必ず設置しなければなりません。守ることは変更できませんが、文章は変えることができ、追加もできます。

関川教授を招いて、ブロックごとに研修を行っています。

また、各地区の監査担当より、説明会も行われるでしょう。これらの研修、説明会に参加して、自分のところにあつた定款をつくりましょう。

堺ブロック

この機会に各ブロック、気の合った仲間

人の歴史を踏まえて、各法人が運営しやすい定款にするチャンスです。当保育部会では、社会福祉法人改革の委員であつた、大阪府立大学の

(H・I)